

体験活動参加型 (幼児・児童・生徒とその保護者対象)

| | |
|----------|---|
| 学校名等 | 北方町 |
| 実施日時 | 令和7年12月6日(土) 18時~20時 |
| 会場 | 北方町立北学園グラウンド |
| 参加人数 | 親子 200名程度 |
| 学習課題(分野) | 親子で「冬の星空観察」 |
| 運営者の願い | 夜空を見上げ、きらめく星や惑星を観察することを通して、宇宙の美しさや壮大さを肌で感じてほしい。 明るい星や暗い星、青い星や赤い星など、宇宙の宝石箱のような星空を家族と一緒に眺め、語り合うことで、家族の絆を深める機会としてほしい。 |
| 学習の内容 | |

<案内>

右の案内チラシを作成し、学園を通じて子どもに直接配付。

<当日の星空説明>

いくつかの明るい星の位置関係から頭の中で星座を描きながら、星を観察できるようになると、目的の星を見つけやすい。この日は、緑色光のレーザーポインターを使用し、星と星をつなぎながら白鳥座やこと座、夏の大三角を指し示しながら、明るく輝く有名な星の名前を教えたことで、星への理解を深めやすかった。



<観察>



口径の大きな双眼鏡や望遠鏡で観察することで、星を大きく観ることができた。また、暗くて肉眼で見ることができない星を観察することもできた。星の色の違いも明確に観察できるようになり、星の美しさを改めて感じる事ができた。

<アンケートより>

- ・始めに夜空に明るく輝く星の説明があったからの観察で、とてもわかりやすかったです。
- ・初めて望遠鏡を触る体験ができてよかったです。月の裏側の方がもっと凸凹だということも話を聞くこともでき、大人も楽しめました。来年もまた来たいと思います。
- ・子どもが、望遠鏡を操作することに夢中になっていました。月を望遠鏡の視野の真ん中に合わせることができていて、よい経験になったと思います。

<望遠鏡の操作体験>



自動追尾装置が付いていない望遠鏡では、視野内の天体の位置が時間とともにずれていくため手動での調整が必要。



子ども用案内はあえて紙媒体を用い、園や学校を通して、子どもたちに直接配付することで、子どもたちの「参加したい」「観てみたい」という興味関心を喚起する方法を選ばれた。申込みは、いつでもどこからでも申込み可能なWEB形式をとられ、アナログとデジタルの長所を上手に活用されている点が素晴らしい。



観察機器である望遠鏡について、屈折型、反射型、大小いろいろな型のを揃えられ、普段あまり目にする事のない、市販される最大級の双眼鏡による観察も経験できた。各種観察機器の見え方の違いなど、自分の目で確認することができるようになっていた点がたいへんよかった。



観察目標である天体を望遠鏡の視野の中央に調整してもってくる操作方法を体験できる望遠鏡が2台準備されており、望遠鏡を自分の手で操る機会を提供されていた点が、素敵であった。

